



解題

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって事前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

牧師となつてから、いつの間にか20年以上の歳月が過ぎた。しかし実は、その間に一度も洗礼式を執り行つた経験がない。確かに、日本基督教団から正式に按手を受けた牧師ではあるのだが、私の奉仕は専ら、祈りと黙想を中心軸に据えた超教派のアシュラム運動であつたため、教団に籍は置いていても、いわゆる教会を持たない「無任所教師」としての立場だつたからだ。

ところが、この春から甲西伝道所の代務教師として新たな働きを担うこととなり、晴れて、洗礼式を執り行うこともできるようになつた。しかし同時に、果たして洗礼とは一体何であるのか。また、その意味は何なのか、そんな根本的な問いが湧き上がってきた。そもそも、洗礼とは単に教会や教団への加入を意味する入会式の儀式ではないはずだし、また、それは特定の教団に属する牧師にしか執行できないものであるのか。今更ながら、全世界へと出ていき、すべての人に洗礼を授けることは、主イエスキリストの大宣命令のことを考えている。確かに、日本基督教団の『式文(試用版)』には、こう記されている。「割礼が、神がイスラエルと結

ばれた契約に加わるしるしであるように、洗礼は、神が教会との間に立てられた契約に加わるしるしである」と。この理解に立てば、洗礼は教会への所属を示す明確な「しるし」としての意味を持ち、教派によって執行の形式が異なることも、また「どこで、誰によって」洗礼を受けたのかに教会が注目するのも、一定の理解は可能だろう。

しかし、そんな折、ある興味深い文書を目にした。それは、

瞑想

キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きるようになる (IIテモテ2:11)

主幹牧師 榎本 恵

2012年に日本基督教団が発行した『信仰職制委員会答申』(第4753号)である。そこには次のような問いが記されていた。「教会役員会において承認され、父と子と聖霊の名によつて執行された洗礼が、他教団で按手を受けた信徒によつてなされた場合、その洗礼は有効か無効か」。この問いに対して、委員会では、明確に「有効である」としてある。そして、執行者が教団の牧師でないことを認めた

役員会は誤りではあるけれども、その洗礼自体は有効であると結論づけているのだ。このことは私にとつて大変な驚きであつた。それはサクラメント(秘蹟)としての洗礼を重んじるカトリック教会が、緊急時の洗礼(たとえば瀕死の乳児に対して、司祭以外の者が授ける洗礼)を有効と認めているのを知つた時以上の驚きであつた。そこには、洗礼を執り行う者が誰であるかという問い以上に、洗礼の本質

またどのようなになされたかではなく、キリストの名によるものであることの重要性であるということ伝えてある。教会や執行者ではなく、神の恵みが洗礼を有効にし、それを通じて人はキリストの死と復活に与ると断言する。

今月の与えられた聖書箇所IIテモテ2章11節は「キリストと共に死ぬ」こと、それは「キリストと共に生きる」ことの始まりであると言う。そして、この真理はパウロが洗礼について書き記したローマ書6章においても鮮やかに示されている。洗礼とは、単なる儀式でも、宗教的制度への加入手続きでもない。むしろ、それは自らの古い生き方に死に、キリストと共に新しい命を生きたり、霊的な変化を象徴しているのだ。

友よ、洗礼は単なる教会の入会式ではない。また、教理や信仰を理解したもののみが入学を許される試験でもない。それは人生の根本的な方向転換であり、主の死と復活に自らを重ね、新たな命に生きる決意のしるしなのだ。洗礼とは、まさに「キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きるようになる」(IIテモテ2:11) ことに他ならない。

榎本惠著「負けて勝つとは」 書評より 山岡三治

(当時上智大学新学部助教授・イエズス会神学院院長)



アシユラムに命をささげた榎本保郎牧師の長男として生まれた恵氏は、父親と同じ神学部に進んだのち、牧師の道には進まず、家を出て、求道の彷徨をはじめた。からだ全体で体験しないと納得せず、これと信じたらすべてを投げうって邁進するという、まことに榎本牧師とよく似た性格のようだが、1986年に沖繩のガンジーと呼ばれる老

人・阿波根昌鴻氏(伊江島)に出会ってから、妻と3歳になる息子とともに伊江島に移り住んだ。それから11年の歳月、阿波根氏のもとで、「戦後の後始末」として忍耐強く耕しながら、本当の平和のカギともいえる「沖繩の目線」を学んでいった。「沖繩の目線」とは、上からでなく、下から見上げる視点であり、真実を見とみず、しかも暖かい目線である。それは沖繩が苦難の歴史から培ってきたものであり、恵氏は、一方では草を刈り、石を運び、穴を掘っては木を植える単調な仕事を繰り返して、他方では沖繩の歴史を学びながらその目線を体得していった。



山岡先生、ビニールシート製のラビリンスを携えて来られた。2021年。

彼は「戦後の後始末」に汗を流し、また阿波根氏と沖繩の心に触れるにしがたがって、いままではがみついていた価値観やかたくななものが溶けて裸になってゆくのを感じたという。日本がバブル経済で浮かれていたころ、恵氏は灼熱の太陽のもとで荒地を耕作していた。湾岸戦争のころは沖繩から旅立つ米軍戦闘機を下から眺めて、沖繩の土地がまたもや悲惨な戦争に利用されているのを知った。自然を心から愛するようになり、また空を眺めるたびに、平和を願う他の国の人たちと共感し、大国の視点の危険性を見抜くようになっていった。

恵氏が出会った阿波根氏は真の平和運動の象徴であり、外から幾度も蹂躪されてもなお希望を失わない沖繩の心を体現している。大震災、南米移民、無一文の帰国、沖繩戦争、一人息子の戦死など、いわば「負け続け」の人生を送ってきた人であるが、卑屈や絶望に陥ることなく「ヌチドゥタカラ」(命こそ宝)、「負けて勝つ、勝つまで続ける」

という信念を貫いてきた。前者はあらゆる自然と命をいつくしむ心である。木も石も、草も人も、それらは皆痛み、笑い、喜び、泣く命そのものであり、「草の

声が聞こえてくれば、草刈りはもっと楽しくなりませ」という言葉によく現れている。(次号へ続く)「本のひろば」(日本キリスト教団出版局)掲載)

第27回 阪神一日 アシユラムに参加して

河崎 靖

アシユラムに参加してみて感じることは、アシユラムの本質は分かち合い・祈り合いにあると思うのですが、その交わりにおいて小さなグループ(4〜5人)のお互い同士が証しを通して真に理解し合える尊い時間を共有できるという点です。

例えばの話、カトリックでしたら、告解をして神父から罪の赦しを得れば一種の安心感をもつことができるでしょう。誰しも受洗が、罪の意識を自覚的に感じる契機になったことと思います。こうした気持ちを信仰生活(プロテスタント)の中で告白する場はあまり多くないのではないのでしょうか。もちろん、母教会の礼拝の際に、恵まれた経験を証しすることはできます。ただ、牧師はいわゆる赦しを与えることとはできないので、信徒としてはプロテスタント信者として日常、思い悩むことも少なくないでしょう。信徒として自らを律

→第27回阪神1日アシユラム
神戸聖愛教会にて。自称猪瀬和
子姉の弟子達!?がこのアシユ
ラムを繋いで！



していかないといけな
いと感ずることもある
かと思えます。アシユ
ラムの良さ(独自性)
はまさに、この罪の意
識の告白にあるのでは
ないかとさえ個人的に
は感じています。

キリスト教(カトリッ
クもプロテスタントも)
は、逆にある意味、極
めて楽観的な宗教と言
えるかもしれない。最
終的にはすべてを神に
お委ねすることができ
るからです。

「祈り」―祈り続けること―

新 千重子

先日のイースターに
妹が受洗の恵みを授か
り、感謝と喜びに堪え
ません。身内の受洗者
というのは何にもまし
て喜ばしいことでした。

妹は重度の自閉症児
を持つ70・30の老障介

他宗教と比べてみれ
ばよくわかるかと存じ
ます。イエスを信じ、
すでに救われている私
たちと違って、例えば
ユダヤ教徒・ムスリム
は未だ救われた状態で
はないので、どうしても
も律法主義的になる傾
向があります。

アシユラムに参加し
て改めて、キリスト者
のおかれた恵まれた環
境を再認識することが
できました。
(深草キリスト
福音教会)

護者です。姪っ子は障
害者施設を転々としな
がらの生活でした。妹は
福祉関係では一生懸命
でしたが、心から納得
できず、心は救われる
事はなく、又教会はハ
ドルが高いと信仰には
結びつきませんでした。

7年前のある時、私
の家で「祈りの家」を
始める事を神様から示
され、恵牧師と共にア
シユラム家庭集会を始
めました。姉の家とい
う事で妹も初めて参加し、
賛美、聖書の通読、分
かち合い、「祈り」を体
験し、恵牧師のおだや
かな対応に次回からも
出席するようになり、
少しずつ神様を知るよ
うになりました。わた
しは、これから妹のため
に「祈ろう」と思いま
した。アシユラムのどの
集会にもファミリーの祈
りのカレンダーには妹が
導かれるように祈って
欲しいと書き、信じま
した。

人の事。毎朝念仏を唱
えるが如くお祈りしま
す。コロナ禍で「祈りの
家」は休会となり、今
も再開はできていません
が「祈り」は続けられ
ました。

妹には徐々に変化が
あらわれ、ある時、一人
で近江八幡の近江金田
教会の門をたたき、牧
師に迎えられ、「祈りを」
して下さったと喜びの電
話をかけてきました。
それから教会に通うよ
うになり、神様の導き
により、洗礼を考える
ようになったのですが、
突然の家庭の事情によ
り香川県の坂出に移住
しました。

私は毎朝、早天の前
にデボーションを持って
います。ローズンゲンの
聖書箇所を読み、アパ
ルムを読み、私のプラ
イベートの祈りをしま
す。それは私自身のこ
と、妹、弟、息子、娘
の家族、四人の孫、友
続、すぐに教会をさがし、日本基督教団坂
出キリスト教会が示さ
れました。田尻牧師に
出会い、求道生活が始
まりました。そしてこの
4月のイースターに受洗
となり、私もかけつけ一
緒に洗礼式を授かりま

した。

「祈り続けること」、祈りは必ず聞かれると信じます。次は息子、娘、孫の誰かを神様がキャッチして下さる事を信じて、祈り続けたいと思っています。

「目を覚まして感謝を込め、ひたすら祈りなさい。」(コロサイ書4:2)

(日基甲西伝道所) (早天祈祷会の友・ZOOM)



右から新姉、妹の恵子姉、祈りの友、影山姉。感謝と喜びあふれ。

シメオン黙想の家

シンデレラ事件

市橋 恵子
シメオン黙想の家で私の一番のお気に入り、は玄関から入ってすぐ右横にある食堂です。

4人くらいが座れる作り付けの長椅子にテーブル、それにとまりのキッチンから料理を出し入れができる引き戸、食器棚、そして暖炉が備えられています。

す。食器棚には飾り棚と、ナプキンやカトラリーなどの小物が入る引き出しが備え付けられています。

ある日、私はこの部屋での食事場面を想像しながら掃除をしていました。そうだ、今日は暖炉の壁を磨こうと積み重ねてあるレンガから暖炉の天井を拭い



作家の絵本作家の市井みか絵師の宮本一庭師。シメオンの庭、ラビリンズも作。お二人は御夫妻。病氣治療中。御回復をお祈りしています。

ていたら、冷たい風が頬を撫でました。みたらそこに直径10センチほどの通気孔発見。お！ここはまだ外気とつながっていたのか。こわごわそこに手を入れると袋のようなものに当たり、それに手がかかった瞬間、天井を支えていた鉄の板が外れ、どしゃーんと言う音と共に気が付いたときには一面の黒い煤が床を覆っていました。

私の「ギャー」と言う声をきいて飛んできた裕子さん(康子さんの妹)はシンデレラ(灰ならぬ煤かぶり)の私の横で、すぐさま箒と塵取りで煤をさつさと集め、濡れた布であちこちしつかりぬぐい取ってくださいました。目の前にあるこの暖炉の燃えカスはいったい何年前のものでしょうか？わかっているのは、遠い昔に確かに暖炉に火がたかれていて、窓から見えるもみの木をみながら家族が食事を楽しんだ部屋。今は、二、三人で、あるいは一人で静まって祈る部屋になっています。

5月・修道場アシュラムに参加して

柏瀬祐子

プログラムはきつ過ぎず、ゆる過ぎず、黙想の時間にみことばと向き合い、主のみ旨に思いを馳せました。

恵先生のメッセージは分かりやすく、新しい気づきがたくさんあり、感謝でした。食事を含め、おもてなしの全てが最高でした！恐縮至極です。

宿泊施設としても素晴らしい環境、設備共に大変感動しました。料金設定はありえないほど良心的過ぎます。

与えて下さった主に感謝します。

(アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団湊南シオンキリスト教会)



関東、関西から、主によって集められ...



いえじま 雑記 24 平和巡礼の旅の6月となりました。

最近暑い日々が続いています。梅雨を飛び越してもう夏が来たのかと思うほど。座っているだけで汗が滲んできます。しかし夏の暑さはこんなものではないとわかっているので、クーラーを入れるのはまだ我慢しなければなりません。暑がりな長女は扇風機の前で寝っ転がるのが定位置になりました。次女は蚊に刺されるのが嫌だとか言って、こんなに暑いのに長袖に長ズボン、スカートと靴下をいつもはいていて、見ているこっちが暑くなるよう。一方三女は、なかなか洋服を着てくれず、シャツにオムツのままでそこら辺を走り回り、密かに冷凍庫から氷をくすねては、頬張っています。

このようなありさまでなかなか外にも出れないので、この前は夕方、暑さがやわらいできたところを見計らって、みんなでビーチに行きました。フェリーの最終便が出て行ったしまったあとのビーチは誰もおらず。真っ白な海岸がどこまで広がっています。木陰に入ると、さっきまでの暑さが嘘のように、冷たい風が通り抜けています。普段はあれをしてくれ、これをしてくれとこっちを離してくれない子どもたちも、とても楽しそうに砂浜で遊んでいます。とても気持ちのよいひとときでした。そんな伊江島で、みなさまの来訪をお待ちしています。

榎本 空 (ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住)

第4回 ユース・アシュラムに参加して 岡田智樹

5月4～5日に開催された第4回ユース・リトリートアシュラムに参加させていただきました。主題聖句は、「心から悩みを去り、肉体から苦しみを除け。若さも青春も空しい。」(コヘレト 11:10)で、グループに分かれてディスカッションを行いました。

その中で印象に残っているのは、「空しい」という言葉に着目したこと。空しいというと、どうしてもネガティブなイメージが勝ってしまい、「空しいという表現がしっくりこない」という意見が多かった一方で、「安心感があり、美しいでも意味が通るのではないか。」という意見もあったので、人によって価値観やとらえ方がそれぞれ違ったので、とても新鮮でした。

私は、コヘレト 11:6「朝、種を蒔け、夜にも手を休めるな。実を結ぶのはあれかこれか それとも両方なのか、分からないのだから。」(コヘレト 11:6) という個所がとても大切だと感じました。先が見えず、不安を抱えながら毎日生活をする中で、その中でも何事にも積極的に行動をし続け、たとえ失敗したとしても、やがて報われる時がやってくるのではないかと考えました。



←榎本てる子師、召天7年目記念会。シメオン庭、プレイト前で祈りと讃美。涙と笑いのひとときをてる子師と。

私も実際、大学でキリスト教を学ぶ中で、人生の生き方について今まで以上に考える機会が増えました。いつもいいときが続くわけではありませんが、すべては神様の計画であり、いつもどんなときも神様が見守ってくださっていることを改めて感じることができました。

また、終了後は、外でハンバーガーを食べて、その後ダンスをしたりしてとても楽しい時を過ごすことができたのでとても有意義でした。次回も参加したいです。

(日本基督教団堅田教会・関西学院大学神学部生)

あとがき

5月18日に呉アライアンス教会のアシュラムにご奉仕させていただきました。今年で52回目になる呉教会のアシュラムは、私たちがアシュラムセンターの歴史より長く続いている。教会でアシュラム集会を行うところが随分と少なく、大変寂しい思いをしていたので、呉アライアンス教会や水戸バプテスマ教会など、教会が中心となり、祈りとみ言葉聴徒のアシュラム運動を行ってくださることに、心から感謝している。

確かに、牧師が変わり、役員や長老が変わる中で、教会の考え方やその方針も変わってくることは否めないことだろう。しかし、そのような中で、少なくともアシュラムを認めてくださる教会や牧師、そして信徒の方々がいることに心強くされる。

アシュラムセンター設立50年の歴史は、長いようであつという間の時間である。神の目からは、千年は1日であり、1日は千年であり、その神の時を生きるものとして、この預けられた賜物を手渡しして行くことの大切さをひしひしと感じている。

昨年の京浜アシュラムに続き、今年から南町田ちいさな会のアシュラム、そして岐阜アシュラムでも、ご奉仕させていただくこととなった。信仰の継承をして行くことの大切さを思っている。

(恵)



何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい
マタイ六：33
檀子和子

中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。直前の変更の場合あり！

【主な問い合わせ先】0748-33-4030 アシュラムセンター
【Zoom・インターネット等 問い合わせ先】080-3983-8140

6月の聖書教室など	
6(金)	阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)
9(月)	福岡聖書教室 (福岡中部教会 PM1:30)
10(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)
19(木)	沖縄聖書教室 (日基首里教会 PM6:00)
23(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)
24(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)
24(火)	しみじみする会 (桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30)
29(日)	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝 (PM5:00)
7/4(金)	阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)

6月のアシュラムなど		
19(木)	沖縄平和巡礼の旅 沖縄戦80周年記念	080-3983-8140 榎本光太(沖縄平和巡礼の旅はこちら)
22(日)	PM1:30に那覇空港集合	
19(木)	サマリヤ人病院デイケア訪問	沖縄の皆様のご参加 お待ちしております！ 
19(木)	沖縄聖書教室 (日基首里教会PM6:00)	
20(金)	伊江島・わびあいの里訪問	
21(土)	山内光子氏講演会	
22(日)	主日礼拝 日本基督教団糸満教会	
22(日)	糸州第二外科療養霊祭	

7月のアシュラムなど		
21(月・祝)	第28回 福岡一日アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
26(土)	第6回 四国一日アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター

8月以降のアシュラム予定	
8月8(金)~9(土)	第1回 こどもアシュラム ちいろばひろば
8月中旬	【計画中】榎本空読書会(inアンナ・シメオン)
9月14(日)~15(月)	第5回 ユースリトリートアシュラム
9月15(月)	第32回 岐阜アシュラム
9月24(火)~25(水)	第13回 日光オリーブの里アシュラム
9月27(土)	第50回 南町田一日アシュラム
10月9(木)~10(金)	修道場アシュラム
10月11(土)~13(日)	修道場アシュラム
10月25(土)	水戸バプテスト教会アシュラム
11月3(月)~5(水)	第50回 京浜アシュラム
11月24(月)~26(水)	アシュラムセンター創立50周年記念 第20回 国際正義・平和アシュラム in 近江八幡
2026年1月12(日)~14(火)	第51回 年頭アシュラム

誌面に掲載しきれなかった数々の写真。
HPギャラリー再開予定。そちらもご覧ください。

みことば



日本キリスト教団 豊島岡教会
南花島集会所 牧師 江口公一

3章 「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。」(Ⅱコリント3：17)

コリント教会は「キリストは幾つにも分けられてしまったのですか」(Ⅰコリント1：13)とパウロに言わしめた争いの状況にまだあったと思います。多様な人々が仲たがいせず、多くの部分から成っていながら一つの体(同12：12~27)とされていく和解の旅を始めるために、パウロは勧告ではなく、彼らの内に働かれるキリストに信頼して語ります。

パウロは「わたしたちの推薦状はあなたがた自身」(2)であり、「あなたがたは、キリストがわたしたちを用いてお書きになった…石の板ではなく人の心の板に書きつけられた手紙です」(3)と語ります。パウロ達が身を挺して伝道したキリストがあなた方の心に書きつけられた手紙として生きておられ、パウロ達を推薦しておられるのです。神は、争いの当事者である「あなたがた」をもキリストの良い香りとしての和解の務めを果たす者に変えて下さるでしょう。

「石の板」に刻まれた文字、すなわちモーセの律法を文字通り守り、教会内で異邦人からユダヤ人を聖別しようとする人々に関しては、「わたしたちは…モーセが、消え去るべきものの最後をイスラエルの子らに見られまいとして、自分の顔に覆いを掛けたような事はしません」(12~13)と言います。律法の光に照らされて人の罪が露わにされ、裁かれて死すとも、イエス様はその罪を共に負って十字架にかけられ折って下さいます。主と共に古い契約に死に、主と共に新しい契約に生きる者とされるのです。

「主(キリスト)の方に向き直れば、覆いは取り去られます。(16)」主の霊が働き、聖書を読む人はそこにキリストを認め、罪を贖う神の栄光に照らされます。「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます(18)」。これが、人を義とする和解の務めに生きる私達の姿です。



〈誕生日の方々への祈り(早天祈禱会にて)〉
新しい年も、主が必ずその願いを御前に置いてくださっていることを信じ、待ち続け、祈り続ける者となっていきますように。 恵(ヨブ記35)